

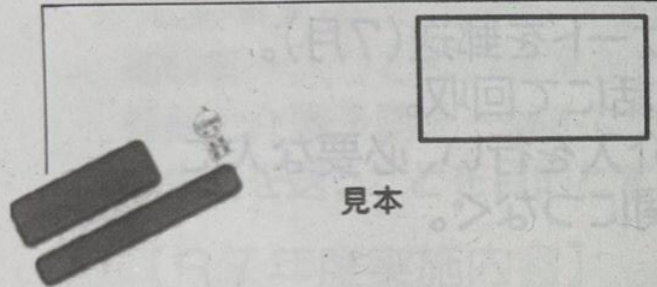
土岐議員

説明資料

ハイリスクアプローチ 服薬情報通知事業

多剤投薬者への通知

多剤投薬者への通知



見本

このお知らせは、複数の医療機関から6種類以上の薬を処方されている方へ健康リスクの軽減を目的にお送りしています。

！ 服用するお薬が多くなるほど、副作用を起こす人が増えることがわかっています。

こんな方はすぐに薬局へ本書をお持ちください！

CHECK 1 複数の病院に通っている

CHECK 2 6種以上のお薬服用

CHECK 3 のみ合わせが気になる

適切なお薬の量や飲み合わせ等について、かかりつけ薬剤師や主治医にご相談ください。

薬局に行くとお薬は並んで待たなければなりません。お薬手帳 この通知書 (印刷用)

対象者抽出条件

医療レセプトデータで、2医療機関以上からの処方薬剤数が6剤以上処方されており、かつ14日以上継続している方

R4年度～

R8年度も、7月末頃に通知予定

(* R8年度からは15剤以上)



R7年度 服薬情報通知事業

(R7年8～11月 実施)

R6年12月～R7年3月診療分（4か月分）と
R7年8月～R7年11月診療分（4か月分）の
レセプトデータ比較から（暫定結果）

R7年度 2,807名に通知

- ◆ 多剤処方 25.8%改善 (723/2,807)
- ◆ 重複服薬 70.6%改善 (343/486)

平均医薬品種類数

- ◆ 多剤投薬・・・9.1剤 → 8.7剤 0.4剤の減薬
- ◆ 重複投薬・・・10.0剤 → 9.0剤 1.0剤の減薬 など…

15剤以上の多剤投薬者62人・15剤以上の重複投薬者25人に保健指導実施